

お知らせ・会務報告

日本甲虫学会第5回大会のご案内

前号で概要をお知らせいたしました、詳細が決まりつつありますので再度ご案内いたします。アンダーラインの部分は前回のご案内と変更になった部分です。ご注意ください。会員の皆様には奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

大会概要

- 会場： 倉敷市立自然史博物館・倉敷市立美術館（岡山県倉敷市中央 2-6-1）
 会期： 2014年11月22日（土）～23日（日）
 主催： 日本甲虫学会 主管 日本甲虫学会第5回大会事務局（倉敷市立自然史博物館内）
 共催： 倉敷市教育委員会・倉敷市立自然史博物館
 後援： 倉敷市立自然史博物館友の会・倉敷昆虫同好会・岡山昆虫談話会

大会日程

第1日：11月22日（土）

- | | |
|--|--------------------|
| 大会受付開始 | 09:30～ |
| 評議員会 | 10:00～11:40 |
| <u>一般講演（口頭発表）</u> | <u>11:45～12:15</u> |
| O-1「アオバネサルハムシは1種か？」…末長晴輝（岡山県美作県民局） | |
| O-2「安定同位体を用いた食材性コガネムシ上科の食性分析」…○三島達也（九大院・比文）・兵藤不二夫（岡大・異分野）・荒谷邦雄（九大院・比文） | |
| <u>昼休憩</u> | <u>12:15～12:45</u> |
| 総会 | 12:45～14:00 |
| 日本甲虫学会賞授与式・受賞講演 | 14:00～14:30 |
| 公開シンポジウム「甲虫類の知られざる生態—甲虫生態学最前線—」 | 14:30～16:45 |

趣旨：野外で甲虫を見つけるには、生息環境や出現時期、寄主などの生態に関する知識が不可欠である。私たち甲虫屋は、採集するための生態に関連した知識は豊富に持っていることは間違いのない。しかし、一部のグループの甲虫を除けば、室内飼育を含め甲虫の生き様を詳しく観察する機会は意外と少ないかもしれない。今回のシンポジウムでは、行動を含めた甲虫の生態研究を行っている研究者をお招きし、最新の研究成果を発表していただくことにした。このシンポジウムを通じて、甲虫の生態の奥深さ・面白さを改めて考える機会にしたい。

コーディネーター 林 成多

話題提供

- S-1「わかっているようでわかっていない!? ゲンジボタルの配偶行動」…川野敬介（下関教委）
 S-2「イモムシハンター・クロカタビロオサムシの得手不得手」…杉浦真治（神戸大院・農学）
 S-3「闘う、飛ぶ、それとも物陰に潜む? ヨツボシケシキスイのオスの巧みな戦術」…岡田賢祐（岡山大院・環境生命科学）
 S-4「アカマダラハナムグリは鳥の巣で育つ」…越山洋三（フィールドデータ・岡山県赤磐市）

討論 「甲虫の生態研究は面白い」

懇親会（「倉敷ロイヤルアートホテル」（10月1日「ホテル日航倉敷」より名称変更））

18:00～20:00

第2日：11月23日（日）

標本同定会（公開）・ポスター発表 9:10～10:30

甲虫類標本の同定会を行います。ご所蔵の同定未解決の標本をお持ちよりください。なお、同定依

頼する標本は必ずマウントされ、データラベル付きのものにしてください。8月までにお申し出のあった同定協力分類群：オサムシ科ゴミムシ類、ハネカクシ科アリヅカムシ亜科、水生甲虫、ジョウカイボン科、ヒラタムシ上科、ケシキスイ科、ハナノミ科、カミキリムシ科、ハムシ科、チョッキリゾウムシ科、ハサミムシ目（特別協力）。（引き続きご協力受付中）

P-1「岡山県におけるヒラズゲンセイ（ツチハンミョウ科）の分布拡大」...○奥島雄一（倉敷自然史博）・小橋理絵子（倉敷自然史博友の会）・神田佐奈恵（倉敷自然史博）

P-2「九州大学伊都キャンパス生物多様性保全ゾーンにおける2012年度実習ビットフォールトラップ調査～甲虫類～（予報）」...○細谷忠嗣（九大決断セ），三島達也，吉澤聡史（九大院比文），井手竜也（森林総研），會津光博，藤井智久，Gabriel Alonzo Carreira，加藤啓祐（九大院比文），和智伸是（JT生命誌），浦志知恵，田口大輔（九大院比文），高木大司（福岡大理），鈴木大（九大決断セ），石川善朗（福岡大理），館卓司（九大院比文）

※ポスター発表のみ、まだスペースに余裕があります。ご希望の方は、発表題目、共同発表の場合は全員の氏名・所属と発表者氏名を大会事務局あてにお送りください。ただし、スペースがいっぱいになり次第、受付を終了させていただきます。

一般講演（口頭発表） 10:30～12:15, 13:00～15:45

O-3「ダンダラテントウの分布北上と分布を規定する気候要因」...○河上康子（大阪市博・外来研）・山崎一夫（大阪市環科研）・大橋和典（豊中市）

O-4「ホウオウオサムシの分布と変異」...井村有希

O-5「ムネアカセンチコガネは地下生菌類を食べる」...○日暮卓志（八街市）・棚橋薫彦（産総研）

O-6「西表島で採集された日本初記録科となるガムシ上科Spercheidae科の1種」...○北野忠（東海大学教養学部）・河野裕美（東海大学沖縄地域研究センター）・多比良嘉晃（静岡市）

O-7「ホンシュウオオイチモンジシマゲンゴロウの蛹室造成に関する知見」...○棚本良介・齊木康太・北野忠（東海大学教養学部）

O-8「日本産タマキスイ科（コウチュウ目）の分類・生態的知見について」...久松定智（愛媛大学農学部農生態学研究室）

昼休憩

O-9「インドネシアから*Phanodesta*属（コクヌスト科）の発見」...吉富博之（愛媛大学）

O-10「小笠原諸島・伊豆諸島のアリヅカムシ相に関する新知見」...野村周平（国立科博）・亀澤洋（川越市）

O-11「香川県におけるヒラズイソアリヅカムシの分布と生息環境」...○滝朋子（香川県東かがわ市）・藤本博文（香川県宇多津町）

O-12「小笠原産オオマルシバンムシ属の1新種（ヒョウホンムシ科）」...○惣中光太郎（愛媛大学院）・酒井雅博（東温市）

O-13「日本産ルリクワガタ属共生酵母のキシロース発酵能および温度適応」...○渡邊花奈（東大院農）・棚橋薫彦（産総研）・深津武馬（産総研）・久保田耕平（東大院農）

O-14「ユキゲニコルリクワガタの共生酵母の取り込みと産卵行動」...渡邊花奈（東大院農）・久保田耕平（東大院農）・棚橋薫彦（産総研）

O-15「甲虫分類学者は名古屋議定書にどう対処すべきか？」...荒谷邦雄（九大・院・比文）

O-16「日本産コガシラミズムシ科の分類学的再検討」...岩田朋文（愛媛大・農・環境昆虫研）

O-17「津波前後の東北太平洋岸におけるケシガムシ属種構成の変化」...○稲荷尚記（北大総博）・小林憲生（埼玉大・共通教育）・大原昌宏（北大総博）

O-18「北米西海岸の海浜性甲虫相について」...○大原昌宏（北大総博）・稲荷尚記（北大総博）・小林憲生（埼玉大・共通教育）

O-19「環太平洋北部の海浜性ケシガムシ属の分子系統」...○小林憲生（埼玉大・共通教育）・稲荷尚記（北大総博）・大原昌宏（北大総博）

分科会 16:00～17:00

雑甲虫分科会

します。大会の使用パソコンは Windows 7、ソフトは Power Point 2007 を予定、ファイルの保存メディアは CD-R、DVD-R、USB メモリが利用可能の見込みです。必ずウイルスチェックを行い、事故に備えてバックアップをおもちください。ウイルスが発見された場合には、発表をお断りすることがあります。動画再生をご希望の方はあらかじめご相談ください。

〈ポスター発表〉

1 題につき縦 172.5 cm×横 115 cm のスペースに収まるようにご用意ください。大会 1 日目の朝から掲示可能ですので、ご自身での掲示をお願いします。掲示用品は会場にあります。ポスター発表の時間帯には、できるだけ会場で説明をお願いします。2 日目の分科会開催前までにご自身で撤収をお願いします。

〈分科会〉

分科会での講演者の方もできるだけ講演要旨の提出をお願いします。発表機器の操作はそれぞれの分科会で行ってください。会場は当日ご案内します。

その他

★大会参加者の方は会期中、倉敷市立自然史博物館および倉敷市立美術館の展示が無料でご覧いただけます（9：00～17：15）。受付で名札をお見せください。また、市内施設で使えるコンベンション割引券を配布予定です。

〈前後泊される方へ〉

大会前日：11月21日（金）

★岡山大学附属図書館資源植物科学研究所分館（旧大原農研）が利用いただけます（9：00～17：00）。大会会場から南へ約 200m。昆虫関係の古い文献が充実しています。コピー可（35 円 / 1 枚）。大会当日は休館日です。TEL 086-434-1204 URL <http://www.lib.okayama-u.ac.jp/ipsrplib/index.html>

★倉敷昆虫館の見学が可能です（9：30～17：00、13：00～14：00 休）。大会会場から北東へ約 1km。岡山県産の古い標本や地方の同好会誌などが充実しています。TEL 086-422-8207 URL http://www.shigei.or.jp/ento_museum/

大会翌日：11月24日（月・祝）

★倉敷市立自然史博物館の収蔵庫を公開します（9：00～17：00）。閲覧ご希望の方は奥島までご連絡ください。大会当日は収蔵庫のご案内はできません。

会場周辺には、美観地区、大原美術館、アリオ・MOP などの大型ショッピングモールなどの見どころもたくさんあります。

宿泊案内および昼食について

事務局では斡旋しませんので、各自でご予約ください。会場周辺から JR 倉敷駅周辺にかけては多数のホテルがありますが、例年混雑が予想される時期ですので、お早目のご予約をお勧めします。

会場に近いのは、倉敷駅前ユニバーサルホテル、コートホテル倉敷、ホテル日航倉敷（10月1日より「倉敷ロイヤルアートホテル」に名称変更、懇親会会場）、ドリーミン倉敷、倉敷国際ホテルなど、JR 倉敷駅に近いのは、アパホテル〈倉敷駅前〉、倉敷ステーションホテル、東横イン倉敷駅南口、ホテルアルファワン倉敷、ホテルサンプラザ倉敷など、美観地区観光を兼ねるなら、倉敷アイビースクエアなどが便利な立地です。

昼食については会場周辺のコンビニ、レストランなどをご利用ください。会場内では、休憩室を除き、食べ物の持ち込みはご遠慮ください。

交通案内

JR 倉敷駅より南へ約 800m、バス駐車場隣。

JR・自家用車利用の場合（前項地図参照）

新幹線をご利用の場合は岡山駅か新倉敷駅で山陽本線に乗り換えとなります。自家用車の方はホテルの駐車場か有料駐車場をご利用ください。

岡山空港利用の場合（URL <http://www.okayama-airport.org/>）

岡山空港へは札幌・東京・沖縄から定期便があります。岡山・倉敷へは路線バスがあります。
 高速バス利用の場合 (URL <http://www.navitime.co.jp/highwaybus/33>)
 倉敷・岡山へは関東以西の各地から高速バスがあります。

大会事務局

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1 倉敷市立自然史博物館
 「日本甲虫学会第5回大会事務局」担当：奥島雄一
 電話：086-425-6037 FAX：086-425-6038
 奥島 e-mail: musoku@city.kurashiki.okayama.jp



大野正男監修・山崎秀雄著

池田二三高・川村 満・高井幹夫写真 (2014)

「昆虫博士入門」, 全国農村教育協会, 236 頁,
 本体価格 2,750 円

ISBN: 978-4-88137-180-0 C0645

全国農村教育協会で出版されていた「たのしい自然観察シリーズ」が、「観察と発見シリーズ」としてリニューアルされて、その第一冊目として「昆虫学入門」が発刊された。著者は長年にわたって市川中学・高等学校で教鞭をとるかたわら、地域昆虫相の解明に尽力されてきた。それと共に、甲虫類とりわけゴミムシダマシ科の分類にも取り組み新種の記載発表も行っている。一方、監修者の大野正男東洋大学名誉教授は、ハムシ科甲虫類に関する分類・生態・分布等多岐にわたる研究業績が知られているが、昆虫類ばかりでなく多様な生物に関する多数の既存文献の紹介も行っている。また、自ら「自然史研究会」を発足させ代表を務めるかたわら、近年は書誌学的な面での活躍が目されている。



この著書は四章から構成され、それらの内容を章ごとに紹介すれば下記の通りである。第一章 昆虫の体の構造・昆虫の基本的な体の構造と共に、多様な環境に適応したそれぞれの昆虫の形態について紹介。第二章 昆虫のくらし・地球上で最も繁栄している生き物とされている昆虫類の、それぞれの環境に適応した暮らし振りについて紹介。第三章 いろいろな昆虫を見る・昆虫類の種の多様性を知るために、目・科・グループ別に日本に生息している代表的な種を紹介。また、トビムシとカマアシムシの仲間と共に昆虫類を系統樹で表現し、それぞれのグループの近縁関係が図示されている。第四章 昆虫博士をめざして・環境に適応して多様に繁栄した昆虫類を知るためには観察・採集、そしてそれらに基づく知見を記録することが「昆虫博士」への道であると指摘。なお、巻末には「全国の主な昆虫館・博物館」、「用語解説」および「参考書籍」が紹介されて、この分野についてより広く、より深く知りたい読者のための配慮がなされている。

以上がこの著書の内容であるが、この著書の特徴は全頁にわたり多数の鮮やかなカラー写真を用いて各章の理解を深める様に配慮されている点にある。著者が記しているようにポジフィルム約1,000点、デジタル約400点のカラー写真を通して主要な日本産昆虫類の様々な生き様の紹介は、読者の眼を楽しませるばかりでなく、昆虫類繁栄の秘密を知る上での「観察図鑑」として活用されることが期待される。

(渡辺泰明, 町田市)